

令和3年度シラバス（教科・科目：芸術・美術Ⅱ）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

教科書	学習書・他教材
高校生の美術2（日本文教出版）	なし

学習目標
美術の独創的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学習計画		
学習項目	学習内容	評価方法
1. シルクスクリーン（版画） ・トートバックへの印刷	○版画技法の学習、原画のデザイン、製版、刷り、鑑賞	授業態度 課題の提出 作品の完成度
2. ピューター鋳造（彫刻） ・メダルづくり 〈35時間〉	○鋳造の学習、メダルのデザイン、金属加工の学習、鋳型の制作、鋳込み、研磨、鑑賞	
3. ポスターデザイン （デザイン） ・ポスターの制作	○ポスターデザインの学習、企画内容の考案、ポスターの試案制作、ポスターの文章考案、ポスターの制作、鑑賞	授業態度 課題の提出 作品の完成度
4. 日本画（絵画） ・静物画 〈35時間〉	○絵の具の学習、日本画の技法、鑑賞	

計70時間（50分授業）

評価規準と評価方法			
評価は、次の観点から行います。			
①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や創造力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つけ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度）、提出物（プリント課題、作品）、作品の完成度などから総合的に評価します。試験は実施しません。			

授業の進め方、課題・提出物など
授業は制作を中心に行います。各单元ごとに、計画、制作、振り返り（鑑賞）を1つのサイクルとして課題を進めていきます。試験を実施しないため、作品やプリントなどの提出物が主な評価対象となります。必ずすべての提出物を期限内に提出してください。

担当者からのメッセージ
美術Ⅱでは、美術Ⅰでの学習を基により発展的に学習し、美術に対する理解を深めていきます。自分が美しい・面白いと感じるものだけでなく、他者との関わりの中で感じる美しさや面白さにも着目してみましょう。一人ひとりが授業に主体的に取り組む、今後の人生の中での美術の楽しみ方を見い出していくことを期待します。